

第11回「文芸思潮」エッセイ賞 発表

第11回
文芸思潮
エッセイ賞

二〇一四年度第11回「文芸思潮」エッセイ賞には、今年も四八一篇という多数の御応募をいただき、まことにありがとうございます。今回は、今年も若年層から九十歳代の老年層まで幅広い世代から寄せられたばかりでなく、アメリカやアジア、ヨーロッパなど世界中から広く御応募をいただきました。また貴重な体験だけでなく、重要な記録や、社会に対する鋭い批評も多く寄せられ、現代に生きる人々の様々な姿が反映された充実したコンテストとなりました。

例年の通り、まず選考委員会予選担当による第三次までの予選選考が行なわれ、最後に三神弘、水木亮、都築隆広、五十嵐勉四人の選考委員によって討議されました（福岡哲司選考委員は七月二十一日逝去されました）。厳正な審査の結果、以下の通り受賞作が決定いたしましたので、ここに発表させていただきます。

今号には当選作および優秀賞を発表させていただきますが、以後奨励賞なども、極力「文芸思潮」誌上に掲載させていただく予定です。御期待ください。

また、今回こちらの不手際で、一次予選、二次予選など予選選考に訂正漏れがあり、まことに御迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げ、訂正させていただきます。

「文芸思潮」エッセイ賞

最優秀賞

「時空を超えて」

山田真弓（東京都新宿区）

社会批評賞

「老いの方舟」

初衣 文（高知県南国市）

優秀賞

「斑猫」
はんみょう

西田信博（茨城県つくば市）

「流れの先に」

本間淑子（東京都江東区）

「鶏小屋」

八束一臣（鳥取県境港市）

「麓の街」

小野友貴枝（神奈川県秦野市）

「ボイラー・メーカー」

本間一孝（神奈川県川崎市）

「骨を播く」

山崎人功（長野県安曇野市）

奨励賞

「ロシア記事」

志水通男（兵庫県神戸市）

「1971年中国 夏」

野上卓（東京都世田谷区）

「京都 東福寺 雪景色」

九条之子（東京都昭島市）

「緩く穏やかな流れ」

向井初子（神奈川県横浜市）

「母の思い」

近藤幹夫（福井県勝山市）

「東ベルリン・トイレ物語」

西本美彦（滋賀県大津市）

「言問橋から……丹野と二人で」

印南房吉（神奈川県横浜市）

「虹」

和田 瞳（福岡県福岡市）

「バッハの弾き方」

山中弾人（神奈川県鎌倉市）

「珈琲を巡る思い」

佐々木今日子

「瓦工場の叫び」

池山弘徳（宮崎県都城市）

「叫び」

森 幸夫（福岡県福岡市）

「ぎつちよ」

檜葉 雍（オランダ）

「春の日のつれづれに」

南雲佐和（神奈川県茅ヶ崎市）

「赤い緒の下駄」

武藤蓑子（東京都多摩市）

「ママはオンナ」

鈴木あぐり（栃木県小山市）

「夜学生という生き方」

白木 巍（愛知県知多郡）

「五郎太」

八木春夫（長野県南佐久郡）

「ねんねこの雪」

井上理博（神奈川県横浜市）

「うしろ姿」

家森澄子（岡山県倉敷市）

「癌破リズム」

高橋惟文（山形県山形市）

「忘れられない人」

中村行寿（岩手県滝沢市）

「ああ、六四年間」

安芸 遙（神奈川県横浜市）

「津波が奪った歴史的記録」

西島雅博（福島県いわき市）

「給水管の春」

辰巳 義（大阪府大阪市）

「褒めてあげなくてごめんね」

林 直子（京都府城陽市）

社会批評奨励賞

「山は今」

井上美恵（三重県名張市）

「秩序ある行動」

寿 紫乃（埼玉県川越市）

「ネットサーフィン」

友輝誠司（愛知県名古屋市）

「ロシアのチョコレート」

板東洋三郎（神奈川県横浜市）

- 「三十五年振りの再会」 牧 康子
「頼光の旧蹟」 川西葉吉
「ヒマラヤからのラブレター」 市原きみ子
「お砂糖はいくつ？」 七夜月尚
「石の人」 寒川靖子
「道すがら」 遠藤芳子
「忘れ得ぬ味」 外山寛子
「対岸の光景」 長谷川智美
「不安の始まるとき」 小城ゆり子
「幸せは石けんの香り」 川口かおり
「釣り女」 水口清治
「遙かなる故郷」 山県大慈
「雪」 早川 雪
「瀧沢 鈴」 宮本 肇
「娘への手紙」 森千恵子
「祖父のマント」 田中真子
「母親という仕事」 高井理笑子
「再会」 稲垣恵利子
「いつか逝く人」 もりかわしほ
「十五歳の私へ」 塚原 渉
「ラクダ色の革カバン」
「父の手のひらの上で子狐になる」 よすみこうすけ

- 「おしまえな」 小川野菊
「オモニの故郷」 金 京姫
「尺取虫のトロッコ」 梶川洋一郎
「不器用でメランコリックな旅立ちの想い」 坂本那香子
「起笛」 立山 紘
「チームワークの舞台」 龍口 宏
「父の約束」 田中真紀子
「母の置き土産」 下村きよ子
「最期の手紙」 金田一淳
「息子への懺悔」 平沢裕子
「女の机」 三宅直子
「お花見」 飯島もとめ
「運というものの不思議」 松川信一
「ひなちゃんのおにぎり」 南川亜樹子
「普通とは何か」 出塩友美子
「母といっしょの『結婚サギ』」 山田まさ子
「私の出産」 原 民子
「万年筆」 大田綾子
「ヤクダツキ」 七尾有美
「夜桜能に寄せて」 内藤美柚
「サクラとスマイレ」 竹澤一晃
「命日の誕生日」 後藤次郎
「李香蘭」 木下弘文

- 「山岳遭難」 中川一之
「ノイロ君への感謝状」 遠遊
「ワープロ校長奮戦記」 岸野洋介
「可愛い子にはヨーロッパ一人旅」 吉田はるみ
「見えない音」 和泉真弓
「消えゆくもの」 篠田顕子
「利用者Cさんとの関わりの中で」 渡辺寿美子
「ロイヤルミルクティーを一つ」 長枝 舞
「赤と黒」 六藍光洋
「赤い手帖」 いまだまりこ
「貞女の遺産」 田窪宣彦
「生きる力をくれたストリップ小母さんたち」 西海和也
「母の指輪」 石井恵子
「ユー・ハヴ・ノー・リーズン」 田中英夫
「あなたの残り香」 あねとあなた

社会批評佳作

- 「『三つ子の魂百まで』の重要性」 佐生綾子
「22分に一件のレイプ地獄」 李耶シヤンカー
「ヤクザ映画とフロイト」 御室 孝
「悪ふざけはいらない、もつと冗談を！」 山世孝幸
「日本人の忘れ物」 岩谷隆司